

表 果樹カメムシ類 ヒノキ球果調査（2026年7月調査）

調査地	ヒノキ 球果 結実量	10回採取り虫数							口針鞘数 ／球果
		チャバネアカカメムシ		ツヤアカカメムシ		クサギカメムシ		合計	
		成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫		
四国中央市土居町天満	中	2	0	1	0	0	0	3	0.05
西条市丹原町川根	中	1	0	0	0	0	0	1	0.45
今治市菊間町西山	中	1	0	0	0	1	1	3	1.60
今治市玉川町龍岡下	多	1	0	0	0	0	0	1	1.15
松山市菅沢（粟井）	中	6	0	5	0	1	0	12	2.55
久万高原町明神	多	3	4	0	0	0	0	7	1.05
砥部町鶴ノ崎	多	7	1	3	1	1	0	13	3.15
伊予市双海町高岸	やや多	6	4	0	0	0	0	10	3.35
内子町五十崎	やや少	0	0	0	0	0	0	0	0
宇和島市柿原	中	2	0	0	0	0	0	2	2.95
西予市宇和町西山田	やや多	1	0	1	0	0	0	2	0.10
愛南町城辺緑	少	1	0	0	0	0	0	1	0.70
今年の平均値		2.58	0.75	0.83	0	0.25	0.08	4.58	1.43
平年値		0.74	0.04	0.03	0	0.04	0.12	0.90	1.27
今年の順位		1	1	1	1	2	4	1	4

- ・ヒノキの球果結実状況は、地点間のばらつきが大きいものの極端に多い地点や少ない地点はない。県下全体としては並である。
- ・7月中旬におけるヒノキ球果でのカメムシ類の寄生数は**多**
- ・ヒノキ1球果あたりの口針鞘数は**並**。離脱の目安となる吸汁痕数（25か所）には、いずれの地点も達していない。

以上のことから、餌となるヒノキ球果の結実が平年並、吸汁痕数も平年並であるものの、寄生虫数は多く、地点間のヒノキ結実量の差も大きいことから、早期に果樹園に飛来してくる地域もあるものと推定される。